

北陸から国際協力を発信!

JICA北陸's World

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

JICA北陸が今年度さらに力を入れて取り組んでいく「持続可能な開発目標(SDGs)」について、各事業での取り組みと併せてご紹介します。



2018年度
1次隊

出発する新ボランティア

富山 派遣国 **ブラジル**

【職種】日本語教育 **中村 健太郎** さん

「bom dia! (こんにちは!)」移住地として歴史の深いサンパウロ州のアリアンサで、日系の子供たちに日本語の指導や行事の運営等を行います。日本と関わりの深い日系社会で、人とのつながりを大切にしながら、活動に取り組んでいきたいと思ひます。

富山 派遣国 **ペルー**

【職種】バドミントン **安念 幸恵** さん

「富山のバドミントンをペルーに!」スポーツを通してペルーでのボランティア活動がとても貴重で楽しみです。富山で培ったバドミントンの楽しさ、強さを世界に広めていきます。そして現地に馴染んで楽しんで活動していきます!

石川 派遣国 **マラウイ**

【職種】理学療法士 **河上 彩** さん

国立中央病院に配属され、患者への治療支援、スタッフへの技術支援を行う予定です。要請内容に合わせ現地住民と積極的に関わり、マラウイと日本、両国の魅力や現状を伝えられるよう頑張ります!

石川 派遣国 **ボリビア**

【職種】小学校教育 **吉田 裕佳子** さん

現地の小学校で算数を教えます。子どもたちが主体となって授業に取り組めるように、先生方にも研修会を開いたり授業の進め方を指導したり、一緒に教材を作ったりします。勉強が楽しいと思ってくれる子が増えることを目標に頑張ります。

福井 派遣国 **ニカラグア**

【職種】数学教育 **山田 進一郎** さん

オー! ニカラグアの首都から近いマテアシ市というマナグア湖畔で、暑い気候に負けず数学の助けをしていきます。日本の学校との交流もいろいろできたらと思ひますので興味ある方は連絡ください!

おかえりなさい! **帰国したボランティア**

- 三輪 晃子 さん (富山県小矢部市) ネパール / 作業療法士
- 藤沼 晋也 さん (富山県高岡市) ナミビア / 土木
- 下村 晃世 さん (富山県高岡市) サモア / 小学校教育
- 蕪城 伸生 さん (石川県金沢市) タンザニア / 工作機械
- 浅谷 健治 さん (石川県金沢市) ガーナ / 自動車整備
- 居村 剛士 さん (石川県野々市市) コロンビア / 陸上競技
- 高野 勝郎 さん (石川県輪島市) フィジー / 環境教育

がんばってね! **派遣中のボランティア**

富山県	富山市 5名	高岡市 3名	滑川市 1名	射水市 1名
合計 14名	黒部市 2名	南砺市 1名	入善町 1名	
石川県	金沢市 4名	小松市 1名	野々市市 1名	七尾市 1名
合計 11名	白山市 1名	かほく市 1名	輪島市 1名	津幡町 1名
福井県	福井市 4名	越前市 3名	小浜市 1名	
合計 10名	坂井市 1名	永平寺町 1名		

お知らせ
JICA 北陸 グローバルキャンパス参加者募集中!!

JICA 北陸では、北陸3県に在住の「大学生、大学院生、専門学校生」の方を対象に、国際理解・国際協力に関する全5回の「体験型プログラム」を以下の通り予定しています。

1回 8/1(水)	2回 8/29(水) 30(木)	3回 9/29(土)	4回 10/13(土)	5回 10/27(土)
勉強会	二本松青年海外協力隊訓練所 体験入隊 (福島県:1泊2日)	福井県農園たや 農業体験	外国人の研修員と交流会	振り返り

JICA プログラムならではの経験・学びが得られる機会になっています。同じ興味・目標を持っている、他学校の人達とも知り合える機会になります。

お申し込み・お問合せ 募集期間 6/20(水)~7/20(金)
Hama-Sakiko@jica.go.jp ボランティア事業担当: 浜 咲季子

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2018 募集中!

- 募集期間: 2018年6月8日(金)から同年9月11日(火)まで
- 募集テーマ: 「世界の幸せのために私たちができること」
- 応募資格: 2018年6月時点で中学生、高校生であること
- 問い合わせ先: JICA北陸 開発教育支援事業担当 武田(たけた)さやか Taketa.Sayaka@jica.go.jp



民間連携事業 中小企業海外展開支援事業

**明和工業がケニア政府関係者を県内に招聘
バイオマス炭化装置のアフリカ普及を目指す**

明和工業株式会社(石川県金沢市)は、JICA中小企業海外展開支援事業のスキームを活用し、2017年よりケニアにて「バイオマス炭化装置を用いた有機廃棄物処理技術展開に関する案件化調査」を実施しています。ケニアでは人口の増加と都市集中により廃棄物の量が急激に増加しており、最終処分場の容量逼迫が課題となっています。明和工業は、廃棄物の約7割を占める有機廃棄物対策としてバイオマス炭化技術を導入し、これまで処理費用の掛かっていた有機廃棄物を農業に利用可能な炭化物に再資源化することを目指して、JICAと協働で調査を実施しています。2018年5月中旬には、調査の対象地域となっているケニアのメルー郡政府環境局関係者2名を金沢に招へいし、同社のバイオマス炭化技術について知識を習得し、理解を深める研修を行いました。今後、明和工業の取り組みにより、ケニアにおける有機廃棄物の減容・利活用を通じた環境負荷低減と所得向上・雇用創出が図られるとともに、持続的な地域循環型モデル構築への貢献が期待されます。



JICA北陸 新スタッフ紹介

研修事業担当 **藤井 智さん**

今年の3月から着任しました藤井と申します。北陸で仕事をするのは2回目です。久々に戻ってきた金沢では、以前に比べて外国人観光客の方が増えてきています。そんな人気の北陸ですが、国内外にもっと北陸のいいところを知ってもらえるように、地域の皆さんと事業を進めてまいりたいと思ひます。

広報スタッフ **山崎 千絵さん**

皆様こんにちは! 4月より広報を担当しています。まだまだ勉強の日々ですが、スタッフのみなさまにご指導いただきながら、北陸の国際協力と一緒に盛り上げられるように頑張りたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひします。

福井県国際協力推進員 **竹本 沙織さん**

こんにちは! サッカーワールド杯2018の日本の対戦国、セネガルで青年海外協力隊として活動していました。国際協力の仕事に携われることに感謝し、ダンクダンク(一歩ずつ)、ふるさと福井と途上国をつなぐお手伝いをしていきたいと思ひます!

北陸3県の実施事例は2面をチェック!

持続可能な開発目標(SDGs)とは? 2015年9月の国連サミットで採択されたもので、途上国だけでなく、先進国も含めたすべての国が取り組むべき17の目標と169のターゲットが定められた国際目標です。